

11/20 秋晴れに催しさまざまな伊豆の国市秋の収穫祭
秋晴れのこの日、『伊豆の国市秋の収穫祭』を、市役所大仁庁舎とJA伊豆の国田中支店の駐車場などを会場に開催しました。
会場では、農産物の販売やステージイベント、展示・体験コーナーなどさまざまな催しを行い、訪れた多くの人たちを楽しませました。
特に、ステージイベントでは、慈恵保育園児、よさこいソーラン絆、パワフルキッズなどが出演し、会場を多いに湧かせました。
また恒例の、農産物品評会に出品された野菜や果物などの販売では、整理券配布に長蛇の列ができるなど、毎年変わらぬ人気ぶりでした。



パワフルキッズなどが出演したステージイベント

11/21 洗練された伝統芸能を温泉街で 狩野川能 アクシスカつらぎで上演

一昨年から旅館宿泊客の来場を見込み、アクシスカつらぎを会場に開催するようになった『狩野川能』。今回の演目は狂言『柿山伏』と、能『鶴』でした。狂言『柿山伏』は、旅の途中でどが乾いた山伏が柿の実を盗み食ったことをごまかそうとするさまをこっけいに演じたもので、客席からは笑いが起こりました。また、能に登場した『鶴』は、頭



洗練された伝統芸能の中にもこっけいな笑いを誘った狂言『柿山伏』

PHOTO
ぎやらりー

12/1 安全のため青色パト出発 安全で安心なまちづくり推進月間
毎年12月は、『伊豆の国市安全で安心なまちづくり推進月間』です。初日となるこの日、あやめ会館前で、パトロール出発式を行いました。会場には、市職員、大仁警察署員、田方消防本部職員のほか、日ごろから防犯パトロールを実施している伊豆長岡地区・葦山地区の民生委員、『オールウェイズOHIITO』メンバーら約60人が集まり、7台の青色防犯パトロール車（青パト）の出発を見送りました。
期間中は、市職員によるパトロールを18回、市役所各庁舎での啓発DVD放映、別荘地への火災予防依頼などを実施しました。



市民の安全のため出発する青色防犯パトロール車

がサル、胴体がトラ、尻尾がへびという架空の生物で、『鶴ばらい祭』など、伊豆長岡温泉にもゆかりのある題材です。内容は、鶴の亡霊が現れて源頼政に退治された話を語るといふもので、笛や鼓の音に合わせて衣装や面を身に付けた能楽師が、鶴を力強く演じました。
観客は、一流狂言師・能楽師の洗練された伝統芸能を堪能しました。

12/4 力走！市の部20位 しずおか市町対抗駅伝競走大会
第11回静岡県市町対抗駅伝競走大会が静岡市で開催され、県内35市町、40チームが出場しました。選手たちは郷土の誇りを胸に、県庁前をスタートし、ゴールの草薙陸上競技場を目指して走りました。
伊豆の国市は、2時間26分16秒で市の部20位となりました。沿道やテレビ・ラジオの前での多数の応援ありがとうございました。また、この大会のためにご協力を頂いたスタッフの皆さんにも感謝します。
なお、選手たちの記録や力走を撮影した写真は、市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



今年も市の代表として健闘した選手・スタッフの皆さん

11/13~14 姉妹都市で市民交流 伊豆の国市友好訪問団
昨春秋、伊豆の国市友好都市交流協会（江間章会長）の市民団が、姉妹都市である京都府長岡京市を訪れ、『第19回長岡京ガラシャ祭』に参加しました。
一昨年は、国民文化祭の行事等と重なったため市民団が参加できなかったガラシャ祭ですが、今回は、市長をはじめ市議会議員、協会役員や会員、市関係者ら41人が訪問し、お祭りのパレードに参加しました。
長岡京市最大のイベントに参加し、沿道の長岡京市民の皆さんに熱烈な歓迎を受ける中、伊豆の国市の記念品を配るなどして伊豆の国市をPRしてきました。



ガラシャ祭の観客に伊豆の国市をPRする訪問団



会場から希望者を募って行われたお座敷遊び体験

11/21~12/8 温泉文化を気軽に体験 伊豆長岡温泉芸妓まつり
昨年の11月~12月、全6回にわたり、『伊豆長岡温泉芸妓まつり』あやめ座』を開催しました。
会場は、京急ホテルと小松家八の坊で、いずれの公演もチケット完売の人気ぶりでした。
ステージでは、伊豆長岡温泉の芸妓衆が練習を重ねたあでやかな踊りや歌・演奏を披露しました。
またその後は、会場から希望者を募ってお座敷遊び体験なども行い、『伊豆長岡温泉の伝統文化』を気軽に楽しみました。
全6回の公演には、のべ698人の観客が来場しました。

11/14 女性隊員 見事な放水 伊豆の国市消防フェスタ
この日、葦山時代劇場日だまり広場周辺で、『伊豆の国市消防フェスタ2010』を開催しました。
会場では、ポンプ車・はしご車の試乗や消火用ホースでの放水などの体験エリアを催し、来場者は楽しみながら消防防災を学びました。
また、園児による鼓笛隊やフラダンス、チアダンスなどのステージイベント、恒例の園児と消防ポンプ車の綱引きも行われ、親子の協力でポンプ車を動かしました。
さらに今回は、本年度発足した女性消防隊によるポンプ車操作も披露され、女性隊員の見事な放水に会場からは拍手がまき起こりました。



会場では女性消防隊による放水訓練も披露